



～礼儀と節度を考える～

# 平成武師道

## 〈人間活動学〉

ここ近年、地球のリズムがかなり変わってきているように感じる。

気候異常が世界的に起こり、日本でも四季がずれてくるなど、

人間の力だけではどうしようもない問題が表われてきた。

人間の文明や科学を持ってしても、大地震、津波、竜巻などの被害は避けられず、多くの人命が失われた。

いくら人間が自然を克服しようとしても無理なのかも知れない。

この先、何十年、何百年経っても人間の力では、地球をコントロールする事は出来ないだろう。

もし、人為的に自然を操れてもそれは一時的な事で、すぐに地球のしっぺ返しが来るに違いない。

考えてみよう。

人間が地球を造ったのか？

違う。

地球が人間を造ったのだ。

宇宙が地球を造り、地球が人間を造ったのだ。

人間は科学を進歩させ、その力で宇宙に飛び出してから、勘違いをしてきたのではないだろうか。

少しばかり宇宙に行き始めたからと言って、地球を舐め出してきたのではないだろうか。

自分達が生きていく為に地球をむやみやたらに汚し、殺し合いをする為にミサイルや武器で地球を

傷つけたりと、これでは地球も堪忍袋の尾が切れて当たり前だ。

我々人間はもっと地球に感謝しなければならない。

テレビのCM等で「地球を大切にしよう」と流しているが、結局は口ばかり。

現代の人間にとっては科学やエネルギーはなくてはならない存在なのも解る。

だからこそ人間は地球や自然に謙虚に感謝する事を、

まずは自分自身の心に感じなければならないのではないだろうか。

特に日本は八百万の神様がいると言われている国。

水の神様。

コップの神様。

最近ではトイレの神様もあった。

全ての物に神様が宿って、人間を見守ってくれていると考えられたこの国、日本。

その日本が、また日本に住んでいる人々が、

近代化してからは自分の事ばかり考えてしまうようになってしまった。

もちろん日本だけでなく、世界中がそうである。

しかし、日本は世界の中でも唯一、全ての事柄に感謝をし、理よりも情を重んじてきた国なのだ。

近代化や西洋化で自分勝手にはなってしまったが、まだまだそのDNAは残っているはずだ。

今後、人間は地球に感謝し、生きている事に感謝し、それを日本に住んでいる人々がまずは自覚し、

次の世代にも伝えていかなければならない。

日本は地球のヘソとなり、感謝の意を発信し、行動に取っていかうではないか。

そう、我々人間は地球に生かされている事を忘れてはいけないのだ。